高齢者福祉マップ見直しに係るヒアリング結果

	聞取り相手（敬称略）	所属	内容
1		みよし市地域包括支援センター	・ケアパスの部分は、説明が必要。説明が前提であれば、マップ自体を説明者が説明するのに使いやすいツールにしたらどうか。 ・事業所一覧は、在介はあまり使わない。包括は使う。総合事業は緩和等一覧必要。 ・医療機関一覧は、在介も包括もともに使う。そこそこ頻度がある。 ・事業所も医療機関も地区ごとにソートしてほしい。 ・事業案内は、字が小さい。何順で並んでいるかわからないため探す手間が大きい。 ・事業所案内は、「困りごと」や「ジャンル」で分けて並べてほしい。 ・介護保険の申請の案内は詳細説明にはあまり使わない。 ・介護保険の申請の流れから結果まででではなく、相談したくなったらまずどこに行くと良いか、手続きはどこに行くのか、介護の結果が出たらどこに相談に行くのかがわかるようにしてほしい。 ・社協の事業と連絡先は、詳細がないので不要ではないか。 ・社協の事業は全部紹介するよりも、日常生活自立支援事業を権利擁護の関係としてまとめた中に入れて紹介するなど、ニーズがあるものを、その分類で配置してはどうか。頻度的にはあと車いすの無料貸与だと思う。 ・マッピングする量が多いので、必要最低限にできないか。事業所は全部は不要ではないか。例えばケアマネだけにするとか。あと公共施設はいらないのではないか。 ・3地区をそれぞれ1ページずつにして、事業所等を整理すれば、来年度包括が3つになった後に使いやすいのではないか。 ・どのような人向けに作成されているのかがわからない。万人うけするように作れば、まとまりがなくなり、逆に使いにくいものになると思う。 ・詳細はWEBでというようなツール同士の相互補完関係を考えるべきではないか。家族向けに作成するならWEBに誘導するのも方法だと思う。 ・表紙の3包括の連絡先欄に「担当者」を記入できる欄がほしい。メモ欄は一時的なものなのでなくてもよい。電話の近くに置いておくという使い方も多いので、表紙で担当者や連絡先等を完結できるようにしてほしい。 ・冊子全体もだが、特にケアパスのページはイラストが多すぎて高齢者の頭が混乱する。また色ももう少し限定して使用しないとわからない。 ・ケアパスの5段階のそれぞれの状態像のイメージがつかない。具体例を箇条書き等で入れてほしい。 ・1つに機能が集約していているところが使いやすい。
2		〃	
3		〃	
4		在宅介護支援センターじゃがいも	
5		〃	
6		みよし市在宅介護支援センター	
7		さんりふれ在宅介護支援センター	